

Gods derived from India to Japan

日本に伝来されたインドの神々

— 多神一字・梵我一如・日印一蓮 —



The Okura Shukokan
Museum of Fine Arts

2002年4月2日(火)〜5月26日(日)

大倉集古館

電話03-3583-0781

後援
外務省

2 April 2002(Tuesday)
~26 May(Sunday)

日本に伝来されたインドの神々

— 多神一字・梵我一如・日印一蓮 —

2002年は、終戦もない日本と戦後独立したインドとの国交樹立50周年を迎えます。

また明治に創立した日印協会の100周年にも当たります。この節目に、日印官民の各界は両国の交流を盛り上げる協力を様々に進めています。その一環として大倉集古館では、1400余年の長い縁のある「日本に伝来されたインドの神々」を主題とする展示を行います。

創設者大倉喜八郎が戦前に蒐集した日本及びアジア諸国の作品と共に、

2000年の夏に“山内コレクション”として一括寄贈を受け、公開した「インド家庭の神像・画像」約350点の民俗展を再現いたします。

シルクロードの西域・中国を経て日本に至ったインド起源の神々を一堂に集め、日本とインドの繋がりを多様に考察して頂きたいと思います。

主な展示品

Sarasvati：南インド 12世紀初

Vishnu with Sri-devi & Bhu-devi：南インド 12世紀 ①

Vishnu神：Karnataka 18世紀

Gaja-Lakshmi (吉祥天・双象灌水の図)：Central Travancore 1755年

Maitreya (弥勒菩薩)：中央インド 17世紀 ⑥

Buddha：Nalanda Pala-Senas 朝

Tara (多羅菩薩)：Nalanda Pala-Senas 朝

Durga女神 (Mahishasura-mardini)：Bengal 18世紀 ③

Ganesa (聖天)：中央インド 18世紀 ②

Karttikeya (韋駄天)：Kerala 17世紀 ④

Linga：Narmada河の源流 18世紀 ⑤

Kubera (Vaishravana 毘沙門天)：Mathura 5世紀 ⑦

Surya (日天)：Vijayanagar 16世紀

Govardhana 山を持ち上げるKrishna神：Kangra 派 1770年 ⑩

神像を礼拝する二人の女性：Bikaner 1771年 ⑪

「普賢菩薩騎象像」 平安時代 [国宝]

「十二天像」 室町時代 ⑧

「探幽縮図・十王図」 狩野探幽 江戸時代 [重要美術品]

「不動尊」 下村観山 大正14年 ⑨

「如来立像」 北魏時代 [重要文化財]

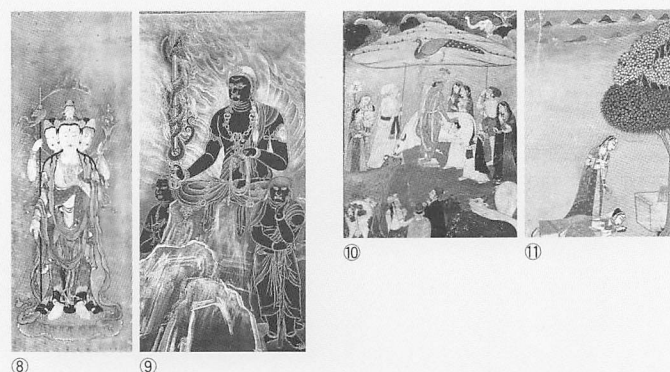
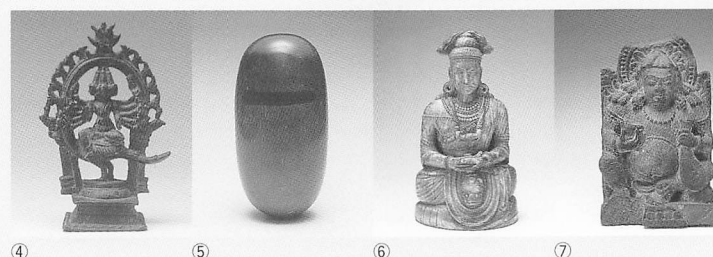
「摩利支天像」 清時代

「韋駄天像」 清時代

「阿弥陀三尊像」 高麗時代

「仏弟子坐像」 タイ国・バンコク期

「仏教奉納板」 ミャンマー・バガン期 ほか



入場料／一般 700円 (600円)

大学生・65才以上 500円 (400円)

小・中・高生 300円 (200円)

()内は20名様以上の団体料金

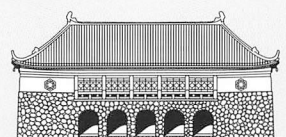
土曜日：高校生以下の児童・生徒並びに同伴の両親・教師の入場は無料

●ホテルオークラとのセット鑑賞券

喫茶券¥1500、食事券¥3000

観覧時間／10:00～16:30 (入館は16:00まで)

休館日／月曜日 (休日の際は翌日)



財団法人 大倉文化財団

大倉集古館

THE OKURA SHUKOKAN MUSEUM OF FINE ARTS

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-10-3 (ホテルオークラ本館正面玄関前)

TEL03-3583-0781

ホームページ <http://www.hotelokura.co.jp/tokyo/>



営団地下鉄 日比谷線 神谷町駅より8分
銀座線 虎ノ門駅より10分
銀座線・南北線 溜池山王駅より10分
南北線 六本木一丁目駅より8分